

活動報告①

講演 歴史講座

「浜野の神社」について

11月2日土曜日 9:30~11:30 参加者19名

場所:浜野会館 講師:今井公子先生(本会会員)

浜野には現在今井さんが確認できる神社関係は

10か所のことです。以下当日配布資料から。



*浜野は中世には浜村（はまむら）と称し、内海（近世の江戸湾 現東京湾）に面し海上交通の重要な湊でした。

*1469（文明元）年に日泰上人は品川から内海を渡って浜野に本行寺を開いて布教の拠点とし、陸路で東上総と結んで戦国時代には浜野は海城（浜御蔵の前身）として、小弓の本城のもとに戦略的な拠点にもなりました。

*以来、近世の浜野村は浜野川河口を利用した湊=河岸から、九十九里や匝瑳方面の米・海産物・材木などを江戸や浦賀へ積み出す廻船問屋や荷宿が営業して賑わいました。そして、浜野は湊として、宿場として、本行寺門前として栄えてきました。

*明治政府は「神道国教化」・・・1868（慶応4）年3月28日 神仏分離令
・・・1900（明治33）年神社の格付け・整理合祀。4月内務省神社局を設置し、翌年には叢祠小社を維持経営の確実な神社に合併することを施策とし、神社の祭祀を厳粛に施行し、社殿の神聖を保ち、氏子の崇敬をうける神社とすることを旨とした。全国で193,127社→122,422社 千葉県7127社→5056社に減少した。

・・・1945（昭和20）年12月15日GHQは国家神道禁止と政教分離を指令。翌年元日の天皇人間宣言。2月宗教法人神社本庁設立。

浜野の神社の本社と御利益について

諏訪信仰 長野県諏訪市に鎮座する諏訪大社が総本社です。諏訪大社は諏訪湖の周辺に

上社（本宮 諏訪市、前宮 茅野市）、下社（秋宮 春宮 下諏訪町）があり、本宮に建御名方富命（大国主神の子）、前宮に妃の八坂刀売命を祀る。



諏訪神社



諏訪神社境内の稻荷社

字諏訪の越 下諏訪神社
(第六天神社の境内)



稻荷信仰 総本社は、京都の伏見稻荷大社、祭神は倉稻魂（うかのみたま）。平安初期に稻荷の神が東寺と結びつき、東寺の鎮守神の京都の伏見稻荷大社が各地に信仰組織を作った。稻を荷う神、稻束を荷っている神が稻荷神である。人が神から稻作農耕をゆだねられ、稻作業は農民の仕事であり、神の仕業（神業）であるという。稻の収穫を助ける稻荷神を人は崇拝した。商業の守護神としても崇敬された。

第六天神社 神世七代の6代目=第六天魔王（他化自在天）として、織田信長や秀吉に信仰された。静岡以東にあり関東・東北で宗教法人としては36社しかない。元総社は、香取市山倉の山倉大神。千葉県に11社あり、生浜では浜野のほか有吉にある。

戸隠信仰 長野市戸隠山の麓にあり、天岩戸開き神話で、天照大神が隠れた岩戸を開けた手力雄命が祀られ



字諏訪の越 第六天神社

た奥社、岩戸の前で踊った天鉢女命を祀った火之御子社などと、地主神で水の神の九頭竜社の5社をいう。靈山戸隠山は修驗道の大通場でもあった。

日吉(山王)信仰 総本社は、滋賀県大津市坂本(比叡山麓)に鎮座する山王総本宮日吉大社。

道祖神 天孫降臨神話の、ニニギノミコトを道案内した猿田彦命を祭神とする民間信仰。道の神として道を守り、旅人を守る。塞の神として外から侵入しようとする悪霊や疫病を防ぐ。



白山信仰

靈峰白山(石川県・福井県・岐阜県にまたがり、各登山口に白山神社がある)



を信仰、717(養老元)年越前の僧が登拝し妙理大菩薩を山頂にまつった。総本社は、石川県の登拝口加賀馬場の白山比咩(しらやまひめ)神社。



三十番神社 夜光稻荷神社

夜光稻荷神社 鳥居の右側にある御手洗石正面に「奉納(宝珠3個を陽刻)」左側面には「寛政七卯(1795)三月吉日」

三十番神社 天台宗や日蓮宗系の寺院では、法華経の守護神として信仰した。1カ月30日を毎日交代で守護する30の神を祀る番神堂がある。

熱田、諱訪、広田、氣比(けひ)、氣多(けた)、鹿島、北野、江文(えぶみ)、貴船、伊勢、八幡、賀茂、松尾(まつのお)、大原野、春日、平野、大比叡(おおびえ)、小比叡(おびえ)、聖真子(しょうじんじ)、客人(きやくじん)、八王子、稻荷、住吉、祇園、赤山(せきざん)、建部、三上、兵主(ひょうす)、苗鹿(のうか)、吉備津の三十の神々です。

★今講座の詳細な資料ご希望の方は 本会までご連絡ください。

活動報告②

講演 歴史講座「浜野の古墳・浜御蔵について」

11月9日土曜日 9:30~11:30 講師:塚原勇人先生(公益財団法人 千葉市教育振興財団)

参加者 19名 場所:生浜公民館



浜野には海があつたことと、「浜野城」があつたことがしのばれる場所がある。

浜御蔵

房総における生実城と浜御蔵(浜野湊)

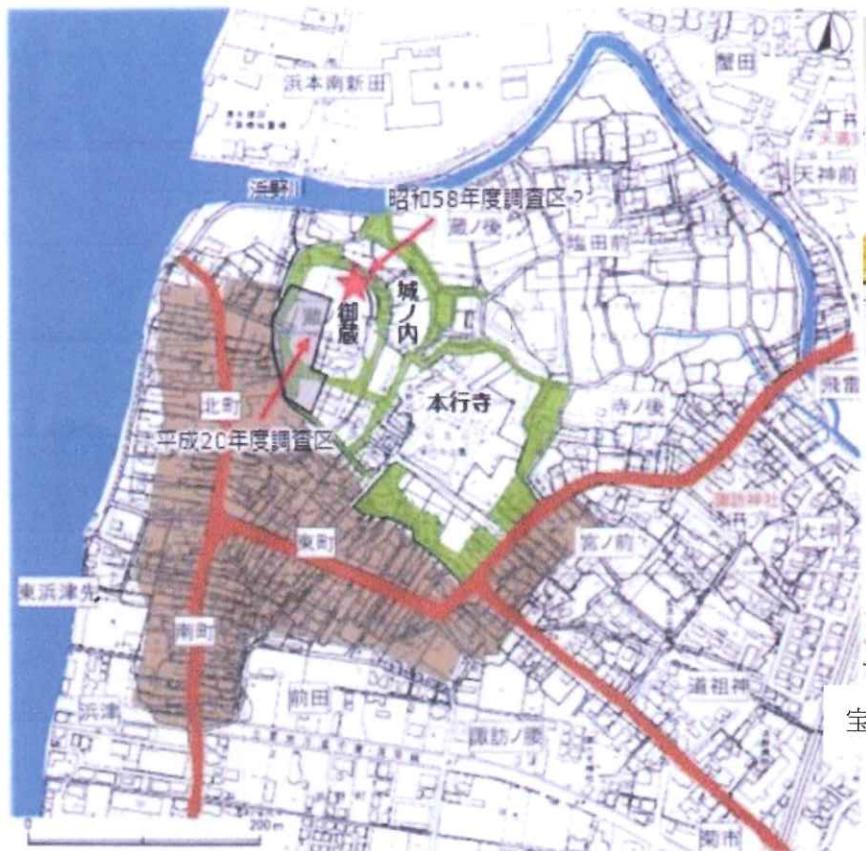
- ・下総と上総の国境近くに位置。
- ・浜御蔵(浜野湊)と生実城は両者は密接に連携。
- ・下総上総の境目(国境)における政治・経済・戦略上のもつとも重要な場所のひとつ。
- ・房総の「内海」の沿岸と太平洋岸とを結ぶ主要幹線の「内海」側の出入り口付近。

・生実城は、これらの活動を掌握することを目的として築かれた城郭。

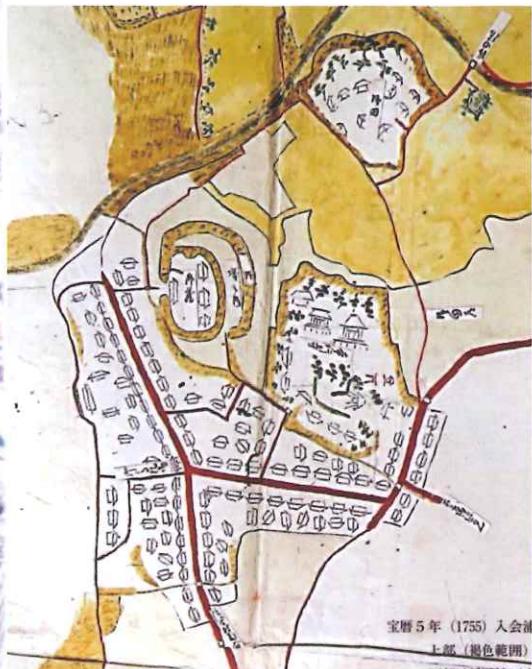
・江戸湾交通の拠点だった浜野湊が生実の海の玄関口として機能。

・中世東国において栄えていた港湾都市品川と江戸湾交通によって直接結ばれていた。

下図は「浜野城」を想定したものです。折々の発掘調査に基づき、古図とも照合しての想定復元図です。この場所は、現在住宅街となっており御蔵入り口と御蔵の仕切りとなった溝跡を確認し想像するしかありません。中世東国の大野が栄えていたという事が知れる貴重な区域であります。



浜野城想定復元図



宝暦 5(1755)年 濑絵図 鶴田家所蔵

活動報告③の歴史散歩を実施。

11月17日日曜日 9:15~12:00 参加者 40名

共催:青少年育成委員会

当日の散歩コース

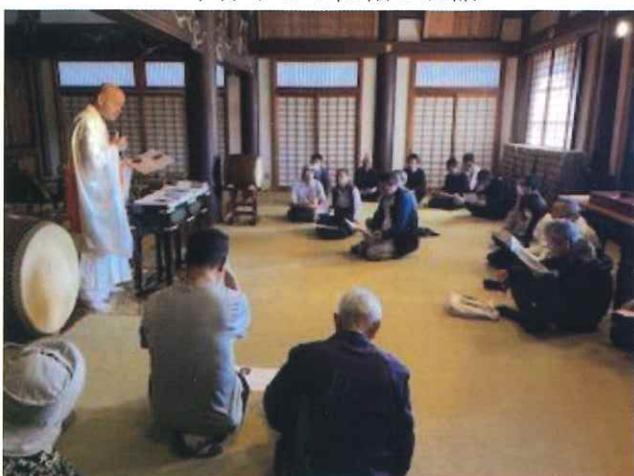
- 旧役場…①塩田天満…向塩田橋…②御蔵入口…
③舟溜り跡…④諏訪神社…⑤本行寺…浜野会館

★天候に恵まれ、多くの参加者(特に育成委員の方々)で無事予定通りの散歩が終えることが出来ました。育成委員会から全員へお弁当が振舞われ、浜野会館で「海苔のできるまで」のDVDを視聴しながらの昼食会となりました。

諏訪神社見学



本行寺での住職のお話



生浜で注目 青い洋館は?

千葉市中央区浜野町の住宅街に、青色の洋館風の建物がある。県内外のレトロ建築好きが来館するといつこの建物は「旧生浜町役場」。旧生浜町が1932年に建築し、千葉市では数少ない昭和初期の洋風建築物として市の有形文化財に指定されている。市の委託で運営している、NPO法人ちば・生浜歴史調査会の白井孝理事長に、同庁舎の魅力や旧生浜町の歴史を聞いた。

千葉市中央区浜野町の住宅街に、青色の洋館風の建物がある。県内外のレトロ建築好きが来館するといつこの建物は「旧生浜町役場」。旧生浜町が1932年に建築し、千葉市では数少ない昭和初期の洋風建築物として市の有形文化財に指定されている。市の委託で運営している、NPO法人ちば・生浜歴史調査会の白井孝理事長に、同庁舎の魅力や旧生浜町の歴史を聞いた。

【小林多美子】

教えて! ちばのマイスター

NPO ちば・生浜歴史調査会理事長 白井孝さん



じらうたかし 1951年、旧生浜町生まれ。2011年に「ちば・生浜歴史調査会」理事長就任。旧生浜町役場庁舎の公開は火・木・土曜の午前9時~午後4時半。入場無料。

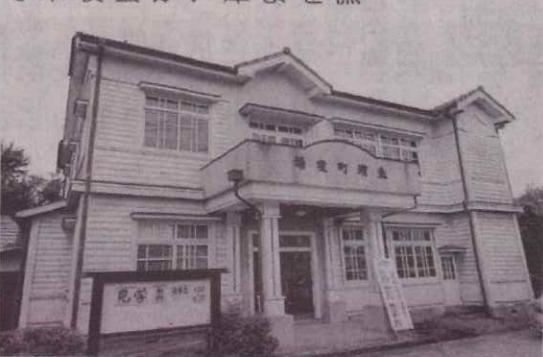
しらうたかし 1951年、旧生浜町生まれ。2011年に「ちば・生浜歴史調査会」理事長就任。旧生浜町役場庁舎の公開は火・木・土曜の午前9時~午後4時半。入場無料。

現会員は20人で、開館時の受け付けや解説、講座の開催などをしています。

調査会はどうのよな活動をしていますか。現在会員は20人で、開館時の受け付けや解説、講座の開催などをしています。

調査会はどうのよな活動をしていますか。現在会員は20人で、開館時の受け付けや解説、講座の開催などをしています。

今後、取り組みたいことはありますか? 同庁舎は生浜のシンボルです。より多くの人に利用してもらえるようにしたいです。生浜の風景は埋め立て造成によって一変してしまいました。経済発展のために京葉工業地帯の開発は必要だったと思いますが、その引き換えに私たちは何を失ったのか。その背景なども含め、伝えていきたいと思います。



1932年に建築され、千葉市の有形文化財に指定されている旧生浜町役場庁舎一千葉市中央区で

ありし日伝える旧庁舎



1932年に建築され、千葉市の有形文化財に指定されている旧生浜町役場庁舎一千葉市中央区で

駅スタンプがJR浜野駅に新登場!!

★地域振興・活性化の為にJRが設置されました。

★旧生浜町役場が図化されています。

★これを知り、役場見学者が増えることも想定されます。

★この機会に町役場の事、生浜の歴史が広く知れ渡ることを期待したいと思います。

★現在は駅員に「駅スタンプを押したい」と申し出ないと押せませんのでご注意ください。

